

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年2組 男10名 女14名 計24名

指導者 松本 玲子

1 単元名 おはなしを たのしもう

教材名 「たぬきの糸車」 (光村図書 1年下)

学習指導要領 第1・2学年<読むこと>

- ・ 目標 「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」
- ・ 主たる指導事項 「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」 <読む(1)ウ>
「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」 <読(1)ア>

2 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期、「はなのみち」「おむすびころりん」の学習で、主語・述語の関係に注意したり、助詞のはたらきに注意したりしながら、登場人物や場面の様子を想像を広げながら読む学習をしてきた。2学期には、「大きなかぶ」の学習を通して、お話の順序や場面の様子に気をつけたり、登場人物の様子を想像しながら読む学習をしてきた。これらの学習を通して、挿し絵を手がかりにして書かれていることの大体をつかんだり、登場人物や場面の様子について、文章に即して想像しながら読んだりすることができるようになってきつつある。

対話は、話型を示したり、答え方を練習したりするなかで、少しずつではあるが、自分の言葉で話すことができる児童も育ってきている。

児童は、1学期の文字の学習や教材文を音読する活動を通して、文字を読むことに抵抗が少なくなってきたおり、読書を好む児童もふえてきている。読書の楽しさを自分のものとしていこうとしている児童にとって、文に即して登場人物や場面の様子を想像を広げながら読む学習をすることは大きな力となるであろう。

(2) 教材について

本教材「たぬきの糸車」は、ユーモラスな楽しさにあふれ、読み手を引き付ける話の展開となっている。児童は、「キーカラカラ」などのリズムカルな擬音語の響きを楽しんだり、たぬきやおかみさんに同化したりしながら、話を読み進めていくものと思われる。やりたくてやりたくてたまらなかったことを思う存分やりつくして、喜々として帰っていくたぬきの姿に、読み手は十分同化できるものと思われる。また、糸車にひかれて毎晩毎晩訪ねてきては、おかみさんのまねをするたぬきの姿に、いつの間にか親しみとかわいらしさを感じるようになり、夫の仕掛けた罠にかかったたぬきをためらわずに逃がしてやるおかみさんの様子も、読み手に温かいぬくもりを与えている。

このように、文章と挿絵から想像を広げて読む学習や登場人物に同化したり、表現の面白さを味わったりしながら、声に出して読む学習に適した教材であると考えられる。

(3) 指導にあたって

本単元では、紙芝居を作ってみんなで楽しもうという目的意識を持たせて本文を

読ませたい。

そのため、第1次では、全文を読み、挿絵を手がかりにして場面を分け、内容を大まかにつかむとともに、単元全体の見通しを持たせるようにさせる。

第2次では、文に即して、登場人物や場面の様子について想像を広げながら読んでいきたい。対話を通して想像したことを伝え合うことで一人一人の読みの力をつけていきたい。学び合いでは想像したことを全体で交流したり、動作化をしたりすることで読みをより確かなものにしていきたい。

第3次では、グループ毎に紙芝居を作り、音読の仕方や発表の仕方を工夫するなどの活動をし、発表会をする。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ 登場人物の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しもうとしている。

【読むこと】

- ・ おかみさんやたぬきの様子を想像を広げながら読むことができる。〈読（1）ウ〉
- ・ 話の内容がよく伝わるように、文章や言葉の響きについて考えながら声に出して読むことができる。〈読（1）ア〉

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 文の中における主語と述語との関係に注意して読む。〈伝イ（カ）〉

4 指導計画（10時間）読む 10時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	・ 単元のめあてや学習の進め方を確かめる。 ・ 全文を読み、物語の大体をとらえる。 ・ 漢字や難しい言葉の学習をする。	・ 学習への意欲や見通しを持っている。〈関・意・態〉 ・ 全文を読んだり挿絵を見たりして物語の大体をつかんでいる。〈読（1）ア〉
	2	・ 場面分けをし、学習の計画を立てる。	・ 挿絵をもとに場面分けをし、どんな場面か大まかにとらえる。〈読（1）ウ〉
第2次	3	・ 一軒家の様子や、たぬきのいたずらについて想像しながら読む。	・ 一軒家の様子やたぬきのいたずらについて想像しながら読み取っている。〈読（1）ウ〉
	4	・ 糸車をまわすまねをするたぬきの様子とおかみさんの気持ちを想像しながら読む。	・ 糸車をまわすまねをするたぬき様子とおかみさんの気持ちを想像しながら読み取っている。〈読（1）ウ〉
	5	・ わなにかかったたぬき様子とにがしてやるおかみさんの気持ちを想像しながら読む。	・ わなにかかったたぬき様子とにがしてやるおかみさんの気持ちを想像しながら読み取っている。〈読（1）ウ〉
	6	・ おかみさんの驚いた様子を想像しながら読む。	・ おかみさんの驚いた様子を想像しながら読み取っている。〈読（1）ウ〉

	7 本時	・糸をつむぐたぬきの様子と踊りながら帰っていくたぬきの様子を想像しながら読む。	・糸をつむぐたぬきの様子と踊りながら帰っていくたぬきの様子を想像しながら読み取っている。〈読（1）ウ〉
第3次	8 9	・グループ毎に紙芝居を作る。 ・音読や発表の練習をする。	・グループ毎に協力して、紙芝居を作っている。〈関・意・態〉 ・相手に伝わるような音読をしている。〈読（1）ア〉
	10	・自分の描いた絵と文を紹介し合い、みんなで楽しむ。	・相手に伝わるような音読をしている。〈読む（1）ア〉 ・楽しんで発表をしたり、聞いたりしている。〈関・意・態〉

5 本時の指導

(1) 目標

思う存分糸をつむぐことができたのがうれしくて、踊りながら帰っていくたぬきの様子を想像しながら読むことができる。

(2) 指導にあたって

①対話について

「ぴよこん」や「ぴよんぴよこ」に着目し、たぬきの「うれしくてたまらない」気持ちを確かめ、なぜ、そんなにうれしいのかたぬきの気持ちを想像させ、対話する。

②学び合いについて

たぬきの気持ちについて対話したことを全体で交流し、たぬきのうれしい気持ちを深めていきたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 内容（・）主発問（○）	指導上の留意点（・）と評価（◎）
見通す	5分	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ おかみさんが驚いていたことを想起させる。 ・ たぬきの様子を想像しながら読み取っていくことを確認する。
		2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">たぬきが かえって いくときのようすを よみとろう。</div>	
深める	35分	3 学習場面の音読し、課題を解決するための見通しをもつ。 ・ 一斉読 4 学習課題を解決する。 （1）糸をつむぐたぬきの様子を読み取る。 ・ 主語と述語の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ たぬきが帰って行くときの気持ちを想像することを伝えて、まとめの見通しを提示する。 ・ おかみさんが、そっとのぞいていること、糸をつむいでいるのは、「いつかのたぬき」であることを確かめる。

	<ul style="list-style-type: none"> • いつかのたぬきについて話し合う。 • いつ、どうやって、たぬきが糸を上手につむぐことができるようになったのか話し合う。 <p>(2) おかみさんがのぞいていることに気がついたときのたぬきの様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • たぬきが何に気がついたか話し合う。 • ぴよこんととび下りたたぬきの様子を動作化する。 <p>(3) 踊りながら帰っていくときのたぬきの様子と気持ちを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • たぬきがどんな様子で帰っていったか話し合う。 <p>○たぬきがこんなにうれしくてたまらなかったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 対話 	<ul style="list-style-type: none"> • 2の場面と3の場면을想起させる。 • じょうずな手つきとは、どういうことなのかおさえる。 • おかみさんをそっくりまねしていることをおさえる。 • 冬の間中、糸車をまわして練習していたであろうことを話し合わせたい。 • たぬきの一生懸命で楽しそうな様子を想像させたい。 • ふいにはどんなとき使う言葉か。 • あわててではなく「ぴよこん」ととび下りたことを確かめる。 • たぬきのかわいい様子を動作化させたい。 • 「ぴよんぴよこ」と「ぼんぼん」とくらべながら、たぬきの「たのしくてたまらない」様子を想像させたい。
	<p>T：たぬきは どうしてこんなにうれしかったのでしょうか。うれしかったわけを対話しましょう。</p> <p>A：糸をつむぐのをやりたくてたまらなかったもので、それが上手にできたのでうれしかったと思います。どうですか。</p> <p>B：私もそう思います。あと、おかみさんが、やさしく見ていてくれたので、それがとってもうれしかったとおもいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • いっぱい糸をつむぐことができたこと、おかみさんがやさしく見守ってくれたことをとりあげたい。 • ぴよこんと、うれしくてたまらない、ぴよんぴよこ おどりながら、などの言葉に気をつけながら動作化させる。 • たぬきの楽しそうな様子を明らかにし

		<p>(5) 課題のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吹き出し ・ 吹き出しの発表 	<p>て、まとめにつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 踊っているたぬきの様子を想像して、吹き出しにかくことを指示する。 ・ 吹き出しに書かれたことの発表でまとめる。 <p>◎たぬきの楽しい気持ちを吹き出しに書くことができたか。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ いっぱい糸をつむぐことができ、たのしかった。 ・ おかみさんが見てくれて、うれしかったなあ。 ・ やさしいおかみさんだったなあ。 ・ さいしょは、むずかしかったけど、じょうずにできるようになって、うれしかった。 </div>	
ま と め る	5 分	<p>5 まとめ音読をする。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様子が伝わるようにはっきりした声で音読する。 ・ 板書をもとにどんな場面だったか確認する。 ・ 感想を発表し、自己評価を書く。 ・ 紙芝居を作ることを伝える。

〈具体の評価規準と支援〉

A：たぬきの様子を想像して楽しい気持ちを理由も入れて、吹き出しに書いている。

B：たぬきの楽しい気持ちを吹き出しに書いている。

C 児への支援：最後の2文を読みたぬきの気持ちを想像させ、書くよう支援する。